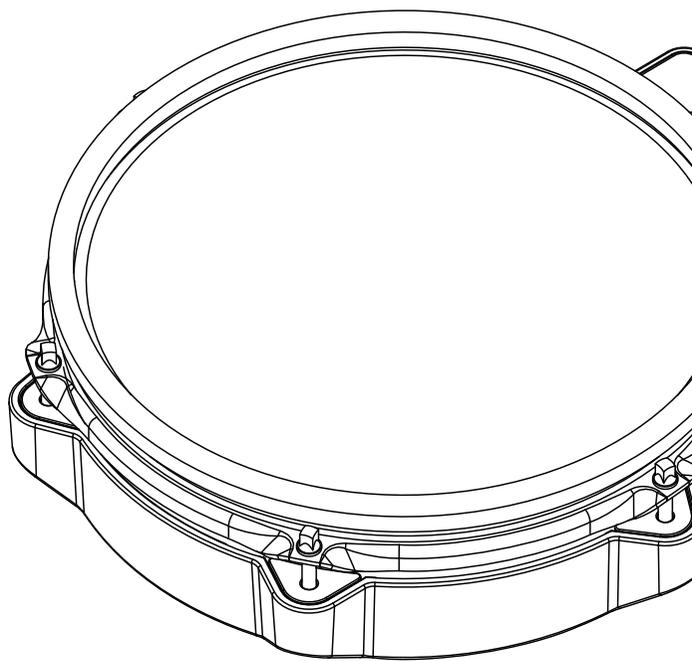


V-Drums
PDX-100
V-Pad

取扱説明書



 **Roland**

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.2)と「使用上のご注意」(P.3)をよくお読みください。また、本機の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

⚠ 警告

分解や改造をしない

本機を分解したり（取扱説明書に記載されている指示（P.7）を除く）、改造したりしないでください。



個人で修理や部品交換はしない

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



不安定な場所に設置しない

本機を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



お子様の取り扱いに注意する

お子様のいる場所で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないでください。



⚠ 警告

次のような場所で使用や保管はしない

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。



⚠ 注意

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が守られていても、取り扱いによってはスタンドが転倒する可能性があります。使用にあたっては事前に安全を確認した上でお使いください。



コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

接続したコードやケーブル類は、煩雑にならないように配線してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

本機の上に乗ったり、機器の上に重いものを置いたりしないでください。



小さな部品はお子様の手が届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



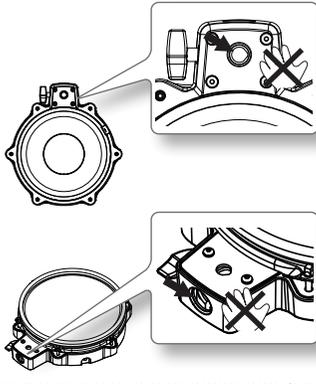
- ワッシャー類、ネジ類

⚠ 注意

図の矢印部分に手や指を入れない

図の矢印部分に手や指を入れないでください。けがをしたり破損する恐れがあります。

また、ヘッドの交換の際には、センサーなどの部品に触れたり異物が入ったりしないよう注意してください。誤動作の原因になることがあります。



使用上のご注意

設置について

- 直射日光の当たる場所や発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品を長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機を分解（取扱説明書に記載されている指示（P.7）を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎた後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、出力端子に過度の力を加えないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

© 2012 ローランド株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。

Roland、V-Drums は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品（電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど）

https://roland.cm/roland_support



プロAV製品（ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など）

https://roland.cm/proav_support



BOSS製品

https://roland.cm/boss_support



01

はじめに

パッケージに入っているもの

- PDX-100 (パッド) 本体
- 接続ケーブル
- ドラム・キー
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

※ 本製品がローランドのドラム・キットに付属されている場合、パッケージの同梱物が異なる場合があります。

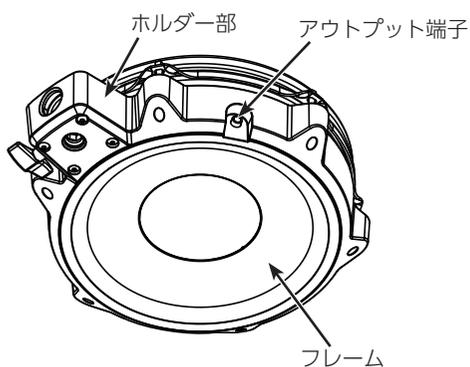
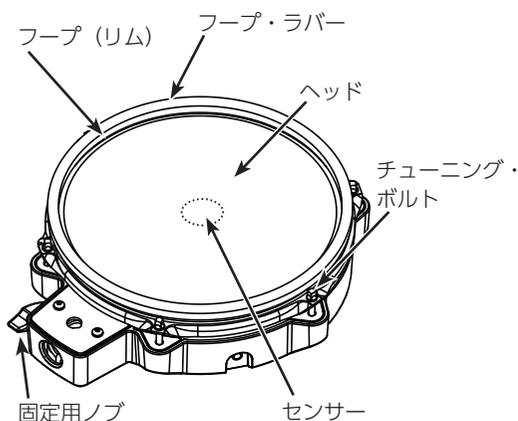
主な仕様

ローランド PDX-100 : V パッド

パッド・サイズ	10 インチ
トリガー	2 (ヘッド、リム)
外形寸法	310 (幅) × 325 (奥行) × 90 (高さ) mm
質量	1.8kg
付属品	取扱説明書、接続ケーブル、ドラム・キー、保証書
別売品	パッド・マウント (MDH シリーズ)、ドラム・スタンド (MDS シリーズ)

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



PDX-100 を使う

PDX-100 を正しく演奏するために

- ヘッドをやや強めに張ってください (P.5)。
- ドラム音源のトリガー・タイプとトリガー・パラメーターを設定してください (P.6)。

ヘッドの張り具合を調節する

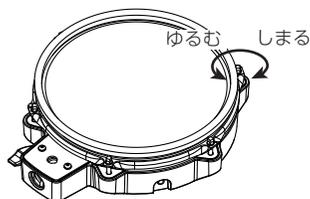
ご使用になる前に、ヘッドをやや強めに張ってください。
ヘッドの張り具合がゆるいと、PDX-100 のリム・ショットが鳴らない、2度鳴りするなどの不具合の原因となります。

ご注意!

ヘッドの張りがゆるんだ状態でヘッドを叩くと、センサーを破損することがあります。

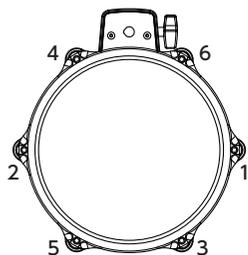
1. チューニング・ボルトを付属のドラム・キーで締めます。

適切な打感が得られる張り具合に調節してください。



チューニング・ボルトは、図の番号順に締めてください。

1箇所のチューニング・ボルトを一度に強く締めると、ヘッドを均一に張ることができないため、誤動作の原因となります。



2. パッドの打感触を確かめながら、さらに張り具合を微調整します。

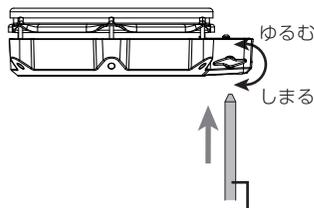
メモ

- PDX-100 のヘッドの張り具合の調節は、打感触の調節をするもので、アコースティック・ドラムのように音の高さ (ピッチ) を調節するものではありません。
- 時間の経過とともに、ヘッドの張り具合が徐々にゆるんてくる場合があります。必要に応じて調節し直してください。

スタンドに取り付ける

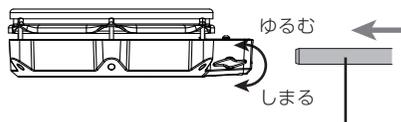
PDX-100 は、垂直ロッド・タイプと水平パイプ・タイプの両方に取り付けることができます。

垂直ロッド・タイプの場合 (別売スタンド: MDS シリーズなど)



取り付け可能ロッド径: 9.0 ~ 13.0mm

水平パイプ・タイプの場合



取り付け可能パイプ径: 22.2mm

ドラム音源と接続する

付属のステレオ・ケーブルを使って、ドラム音源と接続します。
 接続ケーブルのL型になっているプラグをPDX-100のアウトプット端子に接続します。
 モノラル・ケーブルを使った場合は、リム・ショットの音が鳴りません。

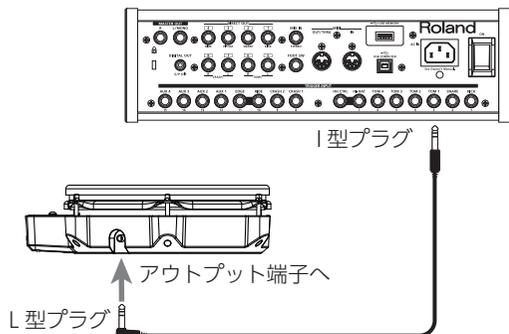
メモ

リム・ショットに対応している各音源のトリガー・インプットについては次の表をご覧ください。

ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

例：ドラム音源 TD-30



音源のトリガー・パラメーター設定

各音源と奏法対応表

機種名	ヘッド・ショット	リム・ショット	クロス・スティック	ヘッドの打点位置検出	リム・ショットのニュアンス	ブラシ・スウィープ
TD-30 TD-20X/ TDW-20/ TD-20/ TD-12	○	○	○	○	○	○
TD-15/ TD-11/ TD-9/ TD-4	○	○	○	×	×	×

メモ

詳しくはドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

推奨パラメーター設定

PDX-100 を各音源で使うときのトリガー・パラメーターの推奨設定値です。
 PDX-100 の取り付けかたやセッティングする位置など、使用される環境によって、トリガー・パラメーターの調整が必要な場合があります。
 設定方法は、各音源の取扱説明書をご覧ください。

機種名	パラメーター	設定値
TD-30	Trig Type	PDX100
TD-15/ TD-11	Pad Type	PDX100
TD-20X/ TDW-20/ TD-12	Trig Type	PD105X
	Sensitivity	6
	Rim Gain	1.8
TD-20	Rim Shot Adjust	2.5
	Trig Type	PD105
	Sensitivity	6
TD-9/ TD-4	Rim Gain	1.8
	Rim Shot Adjust	2.5
	Trig Type	PD105
TD-9/ TD-4	Sensitivity	7
	Rim Gain	1.8
	Rim Shot Adjust (Rim Adjust)	2.5

	TD-30/ TD-20X/ TD-20/ TDW-20	TD-12	TD-15/ TD-11/ TD-9	TD-4
リム・ショットが可能なTRIGGER INPUT	2 SNARE、 3～6 TOM1～4、 12～15 AUX1～4	2 SNARE、 3～5 TOM1～3、 11～12 AUX1～2	SNARE、 TOM1～3、 AUX	SNARE
クロス・スティックが可能なTRIGGER INPUT	2 SNARE	2 SNARE	SNARE	SNARE
ヘッドの打点位置検出が可能なTRIGGER INPUT	2 SNARE (TD-30のみ) 3～6 TOM1～4、 12～15 AUX1～4	2 SNARE	---	---

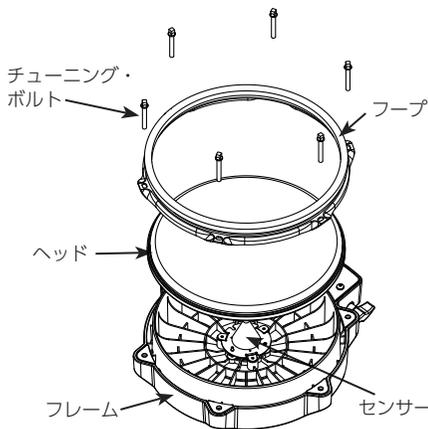
ヘッド、フープ・ラバーの交換について

ヘッドやフープ・ラバーは、使っている年月とともに性能が劣化する消耗部品です。ヘッド面やフープ・ラバーが破れたり、ヘッドの張り具合を正しく調節してもヘッド面にたるみが残るような場合は、ヘッドやフープ・ラバーを交換してください。

交換用ヘッドやフープ・ラバーのお求めについてはお買い上げ店、ヘッドやフープ・ラバーについてのご質問やご相談は、ローランドお客様相談センターにお問い合わせください。

ヘッドを交換する

1. すべてのチューニング・ボルトを取り外します。



【ご注意！】

ヘッドの下にあるセンサーに無理な力をかけないでください。打撃を正しく感知できなったり、センサーを破損することがあります。

2. フープを取り外します。
3. 古いヘッドを取り外し、新しいヘッドをフレームの上にのせます。
4. ヘッドの上にフープをのせます。
5. チューニング・ボルトをフープ、フレームに取り付けます。
6. ヘッドの張り具合を調節します。『ヘッドの張り具合を調節する』(P.5) をご覧ください。

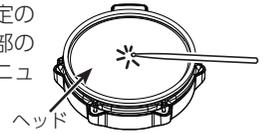
【ご注意！】

1箇所のみチューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張ることができないため、誤動作の原因となります。

奏法について

ヘッド・ショット

ヘッド部を叩きます。特定のスネア音色では、ヘッド部の打点位置に応じて音色のニュアンスが変化します。

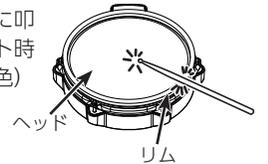


【メモ】

対応する音色については、ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。

リム・ショット

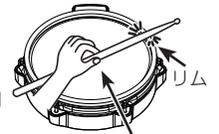
ヘッド部とリム部を同時に叩きます。ヘッド・ショット時とは異なる音色（リム音色）が鳴ります。



クロス・スティック奏法

リム部のみを叩きます。

特定の音色では、リム・ショット奏法時にはリム音色、クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色というように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けることができます。



【ご注意！】

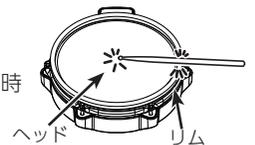
クロス・スティック奏法をするときは、ヘッドに手を置かないようにしてください。ヘッドに手を置くとクロス・スティック奏法が確実にできない場合があります。

リム・ショットのニュアンスによる音色変化

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩きかたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

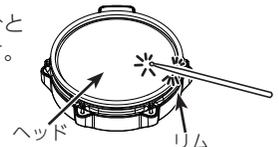
通常のリム・ショット (オープン・リム・ショット)

ヘッド中心部とリム部を同時に叩きます。



浅いリム・ショット

ヘッドのリムに近い部分とリム部を同時に叩きます。



【メモ】

- 対応する音色については、ドラム音源の取扱説明書をご覧ください。
- リム・ショットのニュアンスに対応している各音源のトリガー・インプットについてはP.6をご覧ください。